

皆様の声を市政に！

ヤル気！
元気！
鈴木！

鈴木 たかひで

Vol.29



秋の声が聞こえる美しい季節となりました。皆様には日頃の諸活動に対してご支援を賜り、お礼を申し上げます。さて、9月議会では市民生活に多大な影響を及ぼしているエネルギーコスト増に対する支援や、カーボンニュートラルの推進を目的とした補正予算をはじめとする重要な議案審査に取り組みました。また、私がこれまで一般質問等で要望してきた省エネ補助金の創設が実現するなどの手応えを感じることもできました。今後も皆様のご意見を伺いながら、未来志向の明るいまちづくりに取り組みます。皆様におかれましてはくれぐれも健康に留意され、益々のご活躍を心から祈念いたします。

活動報告1

政策要望の提出

令和5年度に向けた政策要望を市長に提出しました！

所属する会派「市民フォーラム」として毎年次年度にむけて実現したい内容をまとめ、市長に提出しています。私は政策にまつわる立案・審議をおこなう政策審議会のメンバーとして、福祉・医療・教育・安全などの視点で議論を重ねてきました。提出の場では要望項目に対する意見交換を行い、前向きな返答を頂きました。今後は予算決算委員会や一般質問等を通じて継続したフォローを行って参ります。



上のQRコードで政策要望の内容が確認できます。



活動報告2

活動写真

直近の活動を写真で報告します！



明治用水頭首工の復旧工事の確認をしました。工事関係者の懸命の努力に感銘を受けました。



豊田警察の幹部の皆様と意見交換をしました。日頃の感謝と要望を伝えました。



南北バイパスの工事状況を視察しました。完成後は物流の効率化と渋滞緩和が大きく改善されます。



9月定例議会への取り組み（発言した質問・意見など）

その1（家庭支援）

令和4年度補正予算

省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）設置費補助金を新設します。

市民の物価高騰対策と温室効果ガスの排出削減を目的として省エネ家電の購入・設置に対する補助制度を導入します。



Q. 質問

補助申請の手順と周知は

A. 答弁

購入場所や製品など、補助要件を満たすことが分かる領収書等を補助申請書に添付して提出する手順を検討している。周知としては、HPや広報とよたの他、チラシ等を作成して市民に広く展開していく。

賛成意見

物価高騰により家計を圧迫される中、国の支援では行き届かないきめ細かな支援となり、CO2削減にもつながる補助金の新設に賛同する。また、電気使用量が高いエアコンと冷蔵庫を対象としたことも理解できる。公平な支援を図るため、市民の方に広くPRして、申請漏れが無いように取り組むことを期待する。

- (1) 対象者 本市に住所を有する市民
- (2) 対象設備
 - 令和4年7月1日から令和5年3月中旬までに購入及び設置をした次の基準を満たす「家庭用の省エネエアコン及び冷蔵庫」(図2)
 - エアコン 省エネ基準達成率107%以上 (統一省エネレベル3つ星以上)
 - 冷蔵庫 省エネ基準達成率100%以上 (星の数は関係無し)
- (3) 補助金額
 - エアコン：1台あたり2万円 (1人3台まで申請可能)
 - 冷蔵庫：1台あたり2万円 (1人1台まで)
 - ※エアコン、冷蔵庫の両方で申請可能
- (4) 申請期間 令和4年10月から令和5年3月を予定 (先着順)
- (5) 予算額 (9月補正) 160,500千円 (エアコン4,000台、冷蔵庫4,000台、PR費)



その2（企業支援）

令和4年度補正予算

豊田市省エネ設備導入支援補助金を新設します。

エネルギーコストの高騰に苦しむ中小企業者への支援とカーボンニュートラルの取り組みの加速化を目的として、省エネ設備の更新に対して補助制度を導入します。

6月議会での一般質問と政策要望で要望した内容が実現しました!

Q. 質問

事業者に対する周知方法は

A. 答弁

豊田商工会議所や商工会や豊田市飲食業組合、その他の業界団体、金融機関等へのPRを図るとともに、ユーティリティ設備を取り扱う設置業者などへ働きかけを進めていきます。

賛成意見

カーボンニュートラルの実現に向けて企業を取り巻くひっ迫した状況を踏まえると、今回の支援事業の新設は効果的な役割を果たすと考える。本事業を通じて市内のCO2削減が一層進展し、同時にエネルギーコストに悩む中小企業を支えることを期待する。今後は、積極的な周知を図り多くの事業者に活用されることを期待する。

制度概要



事業期間	令和4年度～5年度
補助対象者	市内に事業所を有する中小企業者など（全業種） ※大企業は対象外
補助対象事業	市内事業所の既設設備を、資源エネルギー庁が指定する省エネ設備に更新する事業で、令和4年7月1日以降に発注したものの ※国補助金(注1)にて、省エネ設備としてメーカーの具体的な型番を指定 ※国補助金の指定設備のうち、ユーティリティ設備(注2)のみが対象
補助対象経費	設備費 ※設置費などは対象外
補助金額	①設備の型番ごとに国補助金で設定される補助額と、補助対象経費の1/2の額 のいずれか低い額 ②上限額 500万円
申請期間	令和4年10月～令和5年12月(予定)
予算措置	5億円(令和4年9月補正予算) 同時に、繰越明許費補正5億円を設定する。
その他	・国補助金との併用は不可 ・申請は事業所ごとに行い、事業期間中の複数回の申請は不可

(注1) 資源エネルギー庁が実施する「先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金」のこと
(注2) ユーティリティ設備：空調、照明など、工場等を稼働・維持するために必要となる用設備

その3（都心整備）

令和4年度補正予算

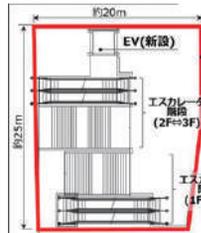
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキを改修します。

都心環境計画に基づき、名鉄豊田市駅接続部のエレベーターとエスカレーターへの設置によるバリアフリー化、および耐震化を図ることを目的として既存施設を撤去して再構築します。今回の工事議案は一部ですが、段階的にペDESTリアンデッキ全体を改修する計画です。

スケジュール

- 令和5年3月：契約・現場着手
- 令和8年3月：供用開始

* 西口デッキ及び豊田市駅駅舎整備は2026アジア大会時の供用を目指し令和7年度末完了予定です



ペDESTリアンデッキの改修

エレベーター設置箇所

◆鈴木たかひでへ皆様のご意見・ご要望・困りごとをお寄せください。



事務所：豊田鉄工労働組合内

住所：豊田市細谷町4丁目50番地 Tel/Fax:0565-28-8437

自宅：豊田市西広瀬町登り256番地 Tel:090-3453-5316

